

# 山梨県衛生環境研究所年報

平成 24 年 第 56 号

---

Annual Report of the Yamanashi Institute  
for Public Health and Environment

No.56, 2012

山梨県衛生環境研究所

## はじめに

山梨県では、県政の基本指針として「チャレンジ山梨行動計画」を平成19年12月に策定し、「暮らしやすさ日本一の県づくり」を目指した取り組みを進めています。

現在は計画の第二期目にあたり、当研究所は、地域における公衆衛生、環境の科学的・技術的拠点として、県民が安全・安心できる暮らしを確保するため、試験検査や調査研究を行い、感染症や食品、医薬品、飲料水、大気、水質などに関する情報を県民に提供してきました。

平成24年度は、平成23年3月に発生した東日本大震災での東京電力福島第一原子力発電所の事故に対して、空間放射線量率のモニタリングや食品や飲料水等の放射能測定強化を図る中で、県民への的確な情報発信により、安全・安心情報を提供することができました。

また、中国等で発生し、影響が懸念されている微小粒子状物質（PM2.5）については、平成24年3月に新たに3箇所、測定地点を増設し、県内5地点でのモニタリングを行なっています。

さらに、昨年度末に西日本地域で発生が確認された重症熱性血小板減少症候群（SFTS）や中国からの感染が懸念される鳥インフルエンザ A(H7N9)等の新たな健康課題についても、医療機関や関係機関等と連携した対応や情報提供に努めました。

今後とも、県民生活の安全と安心を支える試験研究機関として、健康や環境に対する危機管理能力の充実強化、試験検査、調査研究、情報提供の機能強化を図る中で、県民への情報提供に努めてまいりますので、皆様方のご理解とご支援をお願いいたします。

このたび、平成24年度の調査・研究の成果を「山梨県衛生環境研究所年報第56号」としてとりまとめました。この年報が皆様のお役に立つことを期待申し上げるとともに、御高覧いただき、御意見・御指導をいただければ幸いです。

平成25年8月

山梨県衛生環境研究所

所長 深澤 武彦

# 目 次

組織と沿革	1
業 務 報 告	
企画情報科、総務スタッフ	2
生活科学部	7
微生物部	9
環境科学部	12
資 料	14
論文抄録及び学会発表等	31
研 究 報 告	
山梨県内における日常食における無機元素の摂取量調査	34
甲府盆地周辺における蚊類の生息状況調査(2010～2011)	38
高校で発生した <i>Campylobacter jejuni</i> による集団発生事例について	43
2012 年に山梨県内で発生したウエルシュ菌食中毒 4 事例	47
集団胃腸炎から検出されたノロウイルス G の遺伝子解析(2009～2012)	51
山梨県におけるインフルエンザの検出状況(2012～2013)	54
山梨県における麻しん疑い例からのウイルス検出状況(2012)	57
付着珪藻群集から見た隔離水界内外の水質比較	61
西湖の水質鉛直分布の季節変動について(2012年度)	66
家屋内外の騒音レベル差の実態把握調査	70
山梨県における空間線量率と放射性降下物 - 福島第一原子力発電所事故の影響 -	73